

# News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和  
5年  
2月

春の足音もようやく聞こえはじめました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。さっそく Newsletter 第59回配信です！ どうぞお楽しみください。

## 【診療科紹介 耳鼻咽喉科】

研修医・学生の皆さんは耳鼻咽喉科と聞いて、どんな仕事をしているかイメージはありますか？コロナ禍で耳鼻咽喉科をローテーションできなかった方もいたかもしれませんね。今回は私たち耳鼻咽喉科を簡単に紹介させていただきます。

私たちの診療科は正式には耳鼻咽喉科・頭頸部外科といいます。領域は耳・鼻・咽頭・喉頭・舌・頸部臓器・顔面。新生児から高齢者まであらゆる年齢層を対象に外科的手術、内科的処方や検査・処置を行なっています。この領域は、気道・消化管の管腔臓器、甲状腺・副甲状腺といった内分泌臓器、唾液腺・舌などの実質臓器、脳神経12対の多く、頸動脈、顔面骨、外側側頭骨を含んでいます。疾患の病理学的背景もかなり豊富（なんでもあり）です。

そして一番の特徴は、これらの領域は五感の全てを含んでいるため、患者さんのQOLに直結する治療を行っていることです。もちろん生死に直結する悪性腫瘍も多く発生する領域でもありますが、その治療もQOLの維持と表裏一体です。患者さんが、何に苦しんでいるかを的確に把握しなければ診療が成り立ちません。患者の苦しみを多面的に理解し、試行錯誤を重ね症状が改善したときの充実感は、言葉になりません。

当科では特に、小児耳鼻咽喉科、耳科学、音声外科を専門にしており、真に興味の尽きない分野だと思っています。全体で年間約600件の手術を行っています。

また女性医師、育児中の男性医師が家庭を両立して活躍できる仕組みが整いつつあり、育児休暇をとる男性医師もいます。

領域は狭いと言われがちですが実際そんなことはなくて、他科研修でも耳鼻科コンサルトは避けては通れないでしょう。耳鼻科のサブスペシャリティ（聴覚、嚥下、音声、癌、睡眠、めまい、小児など）の中で、お気に入りの領域を持ってもらうことをお約束します♪

ぜひ自治医科大学耳鼻咽喉科にローテーションにきてくださいね。医局員一同、心よりお待ちしております。



#自治医科大学耳鼻咽喉科

## 【医師国家試験予想問題】

### 【問題1】

声帯結節に関して正しいものはどれか。2つ選べ。

- a. 男性に多い。
- b. 喫煙が主な原因である。
- c. 両側性に発生する。
- d. 声帯ポリープより小さい。
- e. GRBAS 尺度では S 成分が高い。

正解：c, d

解説：

- a. 女性に多い。
- b. 喫煙より声の酷使が原因となる。
- c. 正解。
- d. 正解。
- e. GRBAS 尺度では R 成分が高い。

### 【問題2】

声帯麻痺について正しいものはどれか？2つ述べよ。

- a. 患側は右に多い。
- b. 確定診断は頸部 CT で行う。
- c. 原因検索は必要ない。
- d. 最長発声時間が短縮する。
- e. 気息性嘔声を呈する。

正解 d, e.

解説：

- a. 反回神経は左の方が長いため左の方が多い。
- b. 確定診断は喉頭ファイバースコープによる喉頭所見で行う。
- c. 原因不明のこともあるが、食道癌や肺癌など重篤な疾患が原因となることが多いので原因検索は必須である。
- d. 正解。
- e. 正解